



弘土収第 844号

平成20年10月30日

国土交通省道路局長 様

弘前市長 相馬 鋳



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件に

ついて、別紙のとおり提出いたします。

〔 担当：建設部土木課  
電話 0172-35-1111  
内線 422 〕

次の事項について、ご配慮をお願いします。

1. 除排雪経費への財政支援  
冬期間の円滑な道路交通や快適な雪国生活を確保するための除排雪経費に対する財政措置について。
2. 維持管理費の財源確保  
老朽化した道路施設の維持修繕や更新のための財源の確保について。
3. 安全・安心な歩行者空間の確保  
歩道の段差解消等、交通弱者も含め安全で安心して利用できる歩行者空間の確保された道路の整備促進について。
4. 交通ネットワーク構築による地方の活性化  
地方の活性化と生活水準の向上を図るため、観光資源や農業資源等の社会的資源の活用と、医療機関や雇用の場などを効率的に利用できる道路交通ネットワークの構築について。  
また、名所旧跡などへの観光客の誘導のため、道の駅やサービスエリアでのPR等の強化に国の配慮を願いたい。
5. 渋滞緩和・解消対策の促進  
人口が集中している市街地や工場集積が著しい工業団地での慢性的な渋滞を解消し、円滑な交通流を確保するための対策の促進について。
6. 直轄河川の堤防整備と一体になった基幹道路の整備  
河川と並行する基幹道路において、沿線の宅地状況から拡幅改良が困難な場合、堤防の整備に合わせ道路と一体になった兼用堤としての整備について。

○現状

1. 幹線道路の整備

市民や来訪者が安全で快適に移動できることが必要とされ、市街地における交通渋滞や、公共交通機関の利便性の低さ、高速交通・広域交通への対応が不十分となっております。

2. 生活道路の整備

通学路における歩道の整備は十分でないことから、安全な歩行者空間の確保が求められております。

また、農村部における道路整備は、市街地に比べると立ち遅れております。

3. 道路の維持管理

道路管理延長等の増加や急速な老朽化に加え、地下埋設物等道路占用物に起因する道路の不具合も増えております。

4. 冬期道路交通の確保

冬期間の安全・安心で快適な生活のため、道路除排雪に対する市民からの要望が多様化していることから、効率的な除排雪と技術の向上が求められております。

また、除排雪経費に膨大な財政支出を余儀なくされております。

5. 無電柱化による景観の向上

電線類が錯綜し、まちなかの景観を大きく阻害しているほか、歩行者等の通行に支障となっている。

○課題

1. 幹線道路の整備

移動の利便性向上と、合併による一体感あるまちづくりに必要な交通基盤を整備するため、効率的な道路ネットワークの構築や市街地の交通渋滞の解消が急務となっております。

2. 生活道路の整備

高齢化の進展やバリアフリー化に関する社会的要請の高まりを受け、円滑な交通の確保に加え、歩行者の安全の確保が課題となっております。

また、市街地と農村部の均衡ある道路整備が求められております。

3. 道路の維持管理

不具合に迅速に対処するため、パトロールの充実を図り、早期発見・早期補修と併せ道路占用者への施工指導及び瑕疵責任による補修の強化が懸案となっております。

4. 冬期道路交通の確保

効率的な除排雪作業と技術の向上とともに、市民と行政が一体となった協力態勢を確立するための消流雪溝整備と道路除排雪に関する情報の共有が求められております。

また、除排雪経費に対する財政措置が必要となっております。

5. 無電柱化による景観の向上

美しい町並み形成や歴史的風致の向上のため、電線類の地中化が課題であり、観光面や防災上からも重要である。

②-2 地域の目指すべき将来像

1. 幹線道路の整備

効率的な道路ネットワークを構築し、円滑な交通と安全な歩行者空間を確保するために、今後も費用対効果を勘案し、幹線道路の整備を計画的に推進します。

また、渋滞ポイントを中心に引き続き改善を進め、今後も国、県等と連携し、渋滞の解消、緩和を図っていきます。

2. 生活道路の整備

市街地と比べて立ち遅れている農村部の道路整備の向上を図るため、費用対効果を踏まえながら整備を進めていきます。

また、道路整備に当たっては、農業用水路を利用した消流雪溝整備による生活環境の改善を図りたい。

3. 道路の維持管理

道路管理延長等の増加や急速な老朽化に加え、地下埋設物等道路占用物に起因する道路の不具合も増えており、これらに迅速に対処するため、パトロールの充実を図り、早期発見・早期補修を強化していきます。

また、橋梁の適時、適切な維持補修による延命化を図りたい。

4. 冬期道路交通の確保

除排雪作業水準の向上と業者間の連携による効率的な除排雪を行うとともに、除排雪情報や経費などに関する広報に努め、市民の協力と理解を得ながら取り組みます。消流雪溝は、地域住民の協力のもとに行う効果的な雪処理対策であり、今後も整備を進めて参ります。

また、地域に除雪機を貸し出すことにより、歩行者の安全を確保するなどきめ細かな除排雪を進めます。

そのほか、国道等と市道との交差点において、各道路管理者間が連携し一体となった除排雪作業の取り組みが必要であります。

5. 無電柱化による景観の向上

まちなかの幹線道路や歴史的街並みの保全が特に必要な地区について、無電柱化を推進し、景観の向上と快適な通行空間の確保を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

青森県弘前市

| ○重点事項                                                                                                      | ○代表事例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○その他 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新幹線等高速交通ネットワークへのアクセス向上による地域の活性化</li> <li>・ 道路整備による観光振興</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北新幹線新青森駅や青森空港へのアクセスについては、国道7号浪岡バイパス、弘前バイパスの供用目標が平成22年度となっているため、アクセス時間の短縮が見込まれます。<br/>今後もアクセス時間の短縮を図るため、国道7号バイパス整備の早期完成が待たれます。</li> <li>・ 津軽ダム建設に伴う合併事業として付替県道の整備が進んでおりますが、この主要地方道岩崎西目屋弘前線は日本海沿岸の西津軽地域と弘前市を直結する幹線道路で、産業、経済などの面において重要な路線であります。<br/>また、世界自然遺産「白神山地」をはじめとした津軽地方の重要な観光ルートであり、今後大きな観光資源となりうる津軽ダムの完成により、活力ある地域づくりと地域連携の強化、推進に益々欠くことの出来ない路線で早期の整備が求められております。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通や自動車交通の適切な組み合わせによって、交通渋滞が解消され、市民や本市を訪れる方が快適で安全に移動できることが可能となり、津軽地域の産業・経済の活性化が期待されます。</li> <li>・ 弘前公園をはじめとした市の観光資源と周辺町村の観光資源を組み合わせた広域的周遊観光の拡大が課題となっており、アクセス道路の整備により、周遊ルートの多様化が進み観光客の様々なニーズに対応出来ます。<br/>これにより、観光客の増加とともに、宿泊施設が充実している津軽地域の中心都市弘前市への宿泊客の増大が見込まれます。<br/>また、平成22年度の東北新幹線新青森駅開業による相乗効果が期待出来ます。</li> </ul> |      |